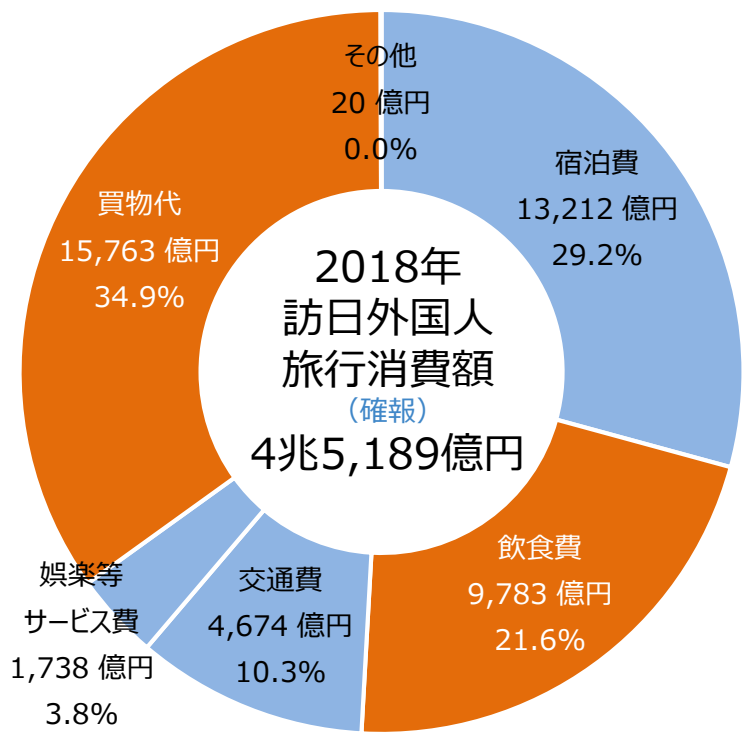
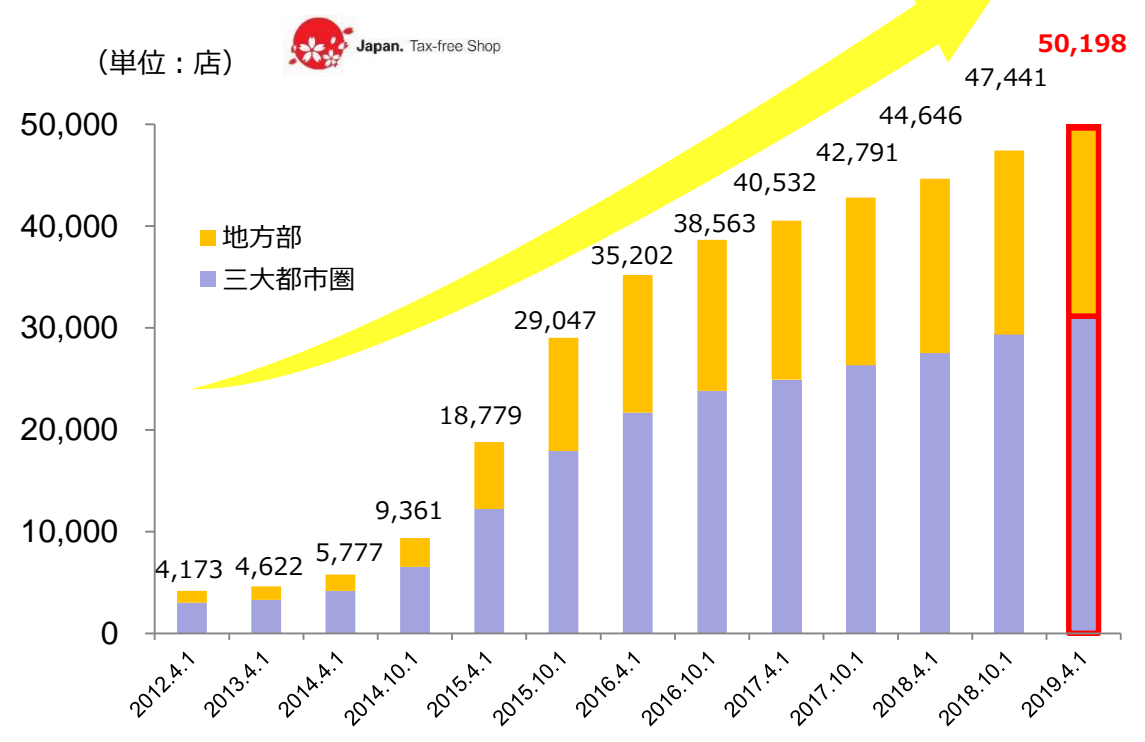


- 4.5兆円の訪日外国人旅行消費額のうち、**飲食費と買物代はそれぞれ1兆円、1.5兆円、合計で2.5兆円（5割超）**を占める重要な市場。買い物をする**免税店の数も7年間で10倍以上に拡大**し、全国に広がっている。
- **飲食店や商店、土産物店は地域の重要な観光資源**。これらの受入環境を整備し、訪日外国人旅行者がより「楽しめるもの」としていくことが、消費額8兆円の目標を実現する上で極めて重要。

◆ 訪日外国人の費目別消費額



◆ 消費税免税店数は急増



飲食費と買物代で約2.5兆円（5割超）の市場規模

2012年：約4,200店 → 2019年：約50,000店

出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査」

地域で外国人観光客を受け入れるための取組

- 飲食店や商店の多くは、訪日外国人旅行者のニーズに対応できていないのが現状。地元のを昔ながらの売り方で売っているのは、訪日外国人旅行者に見向きもされない。
- 国では、外国人の来訪が多い観光地において、地域ぐるみで無料Wi-Fi整備、多言語案内、飲食店・小売店の多言語対応、キャッシュレス等の課題に取り組む場合に、国際観光旅客税の税収も活用しながら集中的に支援。

◆大阪・黒門市場の事例



休憩スペースや手荷物一時預かり、無料Wi-Fi等のサービスを提供。



多言語による食品解説



インスタ映えしやすい商品の提供

・1日あたり約3万人が来場、そのうち約7～8割が外国人観光客。

◆国の支援(観光地の「まちあるき」の満足度向上整備支援事業)

○まちなかにおける多言語観光案内標識の一体的整備



■ ICTを活用した案内標識の整備



■ デザインを統一した多言語サイン看板の整備

○無料エリアWi-Fiの整備



■ 無料公衆無線LAN環境の整備

○地域の飲食店、小売店等における多言語対応・先進的決済環境の整備



■ 多言語翻訳システム機器の整備等



■ 先進的な決済環境の整備等

○公衆トイレの洋式便器の整備及び清潔等機能向上



■ 洋式便器の整備及び清潔等機能向上(光触媒タイルの活用等)

実際に訪日外国人に消費していただくためには、いわゆるインバウンドベンチャーの革新的なサービスも活用しつつ、地域ぐるみで、訪日外国人旅行者のニーズに合った、「売れる商品・サービス」の提供の仕方を工夫することが必要不可欠。観光庁としても、地域の観光関係者とインバウンドベンチャーとのマッチングを支援。